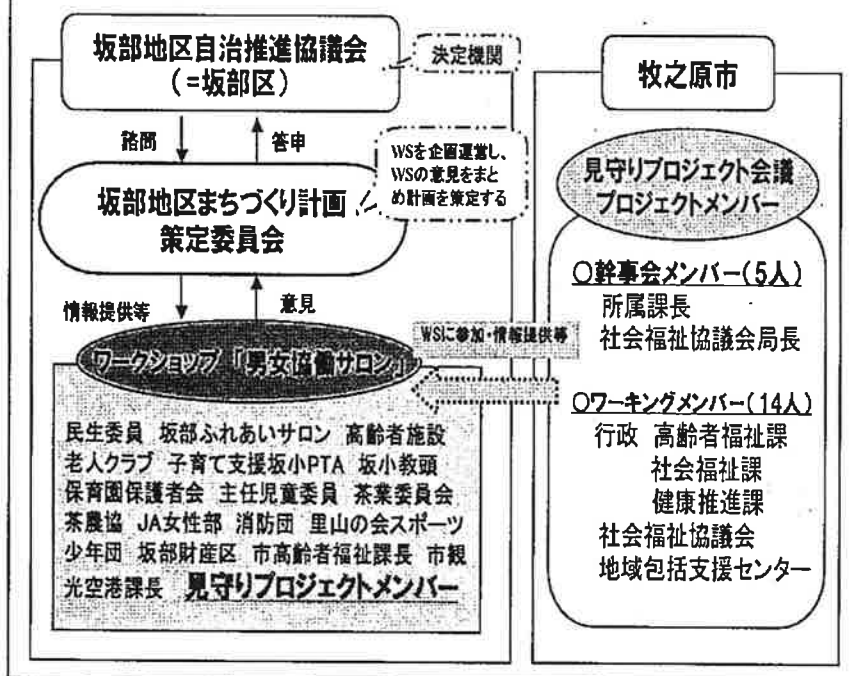




地域住民との協働による地域の見守り支え合いネットワーク構築（牧之原市）

- 行政、社会福祉協議会、地域包括支援センターの3機関が、地域の見守り支え合いネットワーク構築を目指して「見守りプロジェクト会議」を組織し、地域住民との協働による地域課題解決のプロセス（ワークショップ）を通して、地域で高齢者を見守り支え合う取組みを「坂部地区まちづくり計画（地区計画）」の中に位置付けた。
- 平成25年度から地区自治推進協議会（坂部区）を主体に実施に向けて具体化する。

坂部地区まちづくり計画と見守りプロジェクトとの関係



地域と関係機関が協働で考える（ワークショップ）



取組み：高齢者の居場所づくり



「高齢者が町内会単位で気軽に楽しく過ごせる場をつくる」



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	牧之原市（モデル地区：坂部区）
② 人口（※１）	４９，７６５人（２，４７０人）
③ 高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ２４．６％（２６．１％） ７５歳以上 １４．０％（１５．４％）
④ 取組の概要	高齢者がいつまでも健康で楽しく、たとえ周りからのサポートが必要になっても、趣味や生きがいを持ち、家族や地域の人達と共に支え合いながら安心した生活を送ることができる牧之原市を目指す。（牧之原市地域包括ケア体制の実現）実現するために必要な取組みしくみの一つとして、「地域の見守り・支え合いネットワーク構築事業」を実施した。 ① プロジェクト会議の開催 モデル地区（牧之原市坂部区）での「地域の見守り・支え合いネットワーク構築」に向け、３機関（行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター）が話し合いを持つ場「プロジェクト会議」を設置し３機関協働の体制を組織。 ② 坂部区民との対話の場「坂部地区まちづくり計画ワークショップ」 ○坂部まちづくり計画（区の計画）を考えるワークショップの中で、「地域の見守り・支え合いネットワーク構築事業」を位置づけて地区の取組みを協議。 ○計画策定の主体「坂部地区まちづくり計画策定委員会（市民と市の協働）」が、坂部地区で活動する団体や個人委員、ボランティアグループ、見守りプロジェクト会議メンバーを集い、「坂部地区まちづくり計画ワークショップ」を開催。
⑤ 取組の特徴	① プロジェクト会議の開催 地域包括ケア体制の実現を目指す責任主体である行政、地域の見守りを含む地域福祉推進の主体である社会福祉協議会、地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターの３機関が知恵を出し合う場、思いを共有する場としてプロジェクト会議を設置、開催。 ② 坂部地区との対話の場「坂部地区まちづくり計画ワークショップ」 地域住民との協働による地域課題解決のプロセス（ワークショップ）をとおして、希薄化している「互助」のつながりを強くするための取組みとして実施。
⑥ 開始年度	平成２４年度
⑦ 取組のこれまでの経緯	① プロジェクト会議の開催 ○プロジェクト目的共有、坂部地区ワークショップに向けた話し合いをワークショップ形式で開催。 ○開催回数 ８回 ② 坂部区民との対話の場「坂部地区まちづくり計画ワークショップ」 ○高齢者福祉及びコミュニティづくりについて話し合うグループに所属し、具体的な取り組みを協議。 ○上記グループのファシリテーターとして市民との話し合いをコーディネート。



	○ワークショップ 開催回数 １１回
⑧主な利用者と人数	下記に掲載
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	① プロジェクト会議 ○ワーキングメンバー（１４名） 行政（高齢者福祉課 社会福祉課 健康推進課）、牧之原市社会福祉協議会 地域包括支援センターオリーブ、地域包括支援センターさがら ○幹事会メンバー（５名） 行政所属課長 社会福祉協議会局長 ② 坂部区民との対話の場「坂部地区まちづくり計画ワークショップ」 ○実施主体：坂部地区自治推進協議会 ○計画策定主体：坂部地区まちづくり計画策定委員会 ○関連団体及び組織 坂部地区まちづくり計画策定委員会 ワークショップメンバー（民生委員 坂部ふれあいサロン 高齢者施設 老人クラブ 子育て支援 坂部小学校 坂部小学校ＰＴＡ 坂部保育園保護者会 主任児童委員 茶業委員会 茶農協 ＪＡ女性部 消防団 里山の会 スポーツ少年団 坂部財産区 市高齢者福祉課長 市観光空港課長 見守りプロジェクトメンバー（高齢者福祉課 社会福祉課 健康推進課 社会福祉協議会 地域包括支援センターオリーブ 地域包括支援センターさがら） ○関係者人数 １０７名
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	① 坂部地区まちづくり計画ワークショップ ○行政・社会福祉協議会・地域包括支援センターで組織する「見守りプロジェクト会議」がワークショップに参加し市民と協働で取組みを協議。 ○市及び社会福祉協議会の職員がワークショップのファシリテーターとしてグループの話し合いをコーディネート。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	
⑫取組の課題	① プロジェクト会議 ○３機関（行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター）で、各組織での見守り体制の考え方、現状の共有。 ② 坂部地区での取組み ○住民主体のもとに取組みの具体化を図る
⑬今後の取組予定	① プロジェクト会議 ○３機関における見守り体制の現状・課題を共有し、各組織のあり方を協議。 ② 坂部地区での取組み支援 ○高齢者の居場所づくり「高齢者が町内会単位で気軽に楽しく過ごせる場をつくる」の具体化
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	牧之原市役所福祉こども部高齢者福祉課 電話番号：０５４８－２３－００７４



- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

